



Q 実家が老朽化し、数年前、トートローマーをお墓に入れました。今年、父の十三回忌がありま
す。法事は家の仏壇でしな
いとバチが当たる、いやお
墓でもできると、兄弟姉妹
の意見が分かれています。
私はお墓で法事をしたいと
考えていますがいかがで
しょうか？(恩納村・Mさ
ん・60代・女性)

A 近年、沖縄ではさま
ざまな理由により
トートローマーの将来
を心配するとき、お墓の中
に入れるご判断が増えてい
ます。このことを専門用語
では、遷座供養(せんざく
よう)といい、永代供養
(えいたいくよう)・昇天
供養(しょうてんくよう)と
ともに、多くの方々に利
用されているトートローマー
継承問題の解決方法の一つ
です。

**永代供養・昇天供養・遷座
供養**

永代供養とは、ご寺院さ
ま・公益財団法人さまなど
に、トートローマーを永久に
お預けするご供養のことを
いいます。ご寺院さま・公
益財団法人さまなどでは、
折に触れ、ありがたい読経
(どきょう)をお勤めして
いただけていると思いき
で、手厚いお敬いが安心の
ご供養となります。

上げ(ご焼却)申し上げ、
灰をお墓のウコール(香炉)
にウンチケー(案内・収め
ること)するご供養のこと
をいいます。ご寺院さま・
ユタなどの先生方にお立ち
合いいただき、トートロー
マーのお札を削ったり、灰
をお墓のウコールにウンチ
ケーするなど、ご遺族の心
のこもった親身なご供養と
なります。

そして遷座供養とは、お
仏壇からお墓などに、ト
ートローマーを遷座(場所の移
動)申し上げるご供養のこ
とをいいます。ご実家のお
仏壇・お墓は、ご遺族の
方々からすれば、身近な場
所へのご移動かと思いき
ますので、遠慮なく、親しみ
やすいご供養となります。

今回のご相談の回答とし
ましては、Mさんのご実家
のトートローマーは遷座供養
を選択され、現在はお墓に
ありますので、お墓でご法
事をお勤めされることは、
いささかも問題がないとい
うこととなります。まずは、
ご安心いただければと思い
ます。

グソーヌジヨウミチ論とは
グソーヌジヨウミチ論と
は、グソーヌジヨウミチ
(後生の門道)ニウヤファ
フジ(ご先祖さま)がお住
まいになる後生・極楽浄土
(ごくらくじょうど)の正
面玄関の入り口が、どこに
あるのかという論法(考え
方)のことをいいます。

古来より、その入り口は、
ティータ(太陽)の沈む西
(イリ)の方角にあるとい
う、仏説観無量寿経(ぶつ
せつかんむりりょうじゆきよ
う)に代表される日没観(に
ちもつかん)の考え方があ
ります。この考え方を根拠
にしたものに、大切な故人
さまがお亡くなりになった
ときの枕の向きは、ニシマツ
クワ(北枕)と同様、イリ
マツクワ(西枕)にするとい
う沖縄のトータ
ビ(唐「遠」旅)
といわれるご臨
終の作法・心得
があります。

また、同じく、
後生・極楽浄土
の正面玄関の入
り口はお仏壇・
お墓・トートロー
マーの正面であ
るとの論法もあ
ります。この考
え方を根拠にし
ますと、ご兄弟
姉妹さまの「法
事は家の仏壇で」
の考え方も、M
さんの「いやお
墓で」の考え方

も、後生・極楽浄土の正面
玄関の入り口の理になっ
ていることになりましたの
で、双方とも思慮深い、高
い見識でのご意見の相違で
はないかと思えます。

昔、恩師から「お仏壇は
故人さまの現住所、お墓は
故人さまの本籍地」と、ユ
ニークなお仏壇とお墓の関
係をご教授いただいたこと
があります。お仏壇とお墓、
多少の違いこそあれ、故人
さまを偲ばせていただく上
では、心は一つということ
なのでしよう。

私見ではありますが、今
年、十三回忌のお父さまも、
お仏壇で行うか？お墓で行
うか？迷われているお子さ
ま方をご覧になりながら、
グソーから頼もしく、安心
されておられるのではない
でしょうか。

